

製品安全データシート

作成年月日: 2014年11月27日

1. 製品及び会社情報

製品の名称	コメリセレクト 油汚れ専用ハンドクリーナー
供給者の会社名称	株式会社ヴィプロス
住所	東京都江東区亀戸9丁目37-1 株式会社 東洋化学商会 内
担当部門	総務部
担当者(作成者)	竹谷一浩
電話番号	03-3683-8333
FAX 番号	03-3637-5276
緊急連絡電話番号	総務部 03-3683-8333

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	: 火薬類	分類対象外	
	可燃性/引火性ガス	分類対象外	
	可燃性/引火性エアゾール	分類対象外	
	支燃性/酸化性ガス	分類対象外	
	高压ガス	分類対象外	
	引火性液体	分類対象外	
	可燃性固体	分類対象外	
	自己反応性化学品	分類対象外	
	自己発火性液体	分類対象外	
	自己発火性固体	分類対象外	
	自己発熱性化学品	分類対象外	
	水反応可燃性化学品	分類対象外	
	酸化性液体	分類対象外	
	酸化性固体	分類対象外	
	有機過酸化物	分類対象外	
	金属腐食性物質	分類できない	
	健康有害性	: 急性毒性(経口)	区分 5
		急性毒性(経皮)	分類できない
		急性毒性(吸入: ガス)	分類対象外
		急性毒性(吸入: ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性		区分 3	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		区分 2B	
呼吸器感作性		分類できない	
皮膚感作性		分類できない	
生殖細胞変異原性		分類できない	
発がん性		分類できない	
特定標的臓器毒性(単回暴露)		分類できない	
特定標的臓器毒性(反復暴露)		分類できない	
環境有害性	吸引性呼吸器有害性	分類できない	
	水生環境急性有害性	分類できない	
	水生環境慢性有害性	分類できない	

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル	: なし
注意喚起語	: 警告
危険有害性情報	: 飲み込むと有害のおそれ 軽度の皮膚刺激 眼刺激

- 注意書き :
 安全対策 取扱い後手をよく洗うこと。
 応急措置 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。

3. 組成及び成分情報

単一・混合物の区別： 混合物

化学名又は一般名	官報公示整理番号 (化審法)	CAS 番号
水		
ポリエチレン		9002-88-4
PPG-3 ラウレス-9(ポリオキシアルキレンアルキルエーテル)	(7)-97	非公開
PPG-7 ブテス-10(ポリオキシアルキレンエーテル)	(7)-97	非公開
アロエベラ液汁-1		
カミツレエキス		
カルボマー		
(アクリレート/アクリル酸アルキル(C10~30))クロスポリマー		
オキシベンゾン-3		
BG		
エタノール		
フェノキシエタノール		
クエン酸		
プロピルパラベン		
メチルクロロイソチアゾリノン		
メチルイソチアゾリノン		
水酸化 Na		
オレンジ油		
香料		
色素		

4. 応急措置

吸入した場合

- ・情報なし

皮膚に付着した場合

- ・付着又は接触部を水で十分に洗い流す。
- ・汚染された衣服や靴は速やかに脱がせる。

眼に入った場合

- ・直ちに多量の水で 15 分以上洗い流す。
- ・症状が改善しない場合には眼科医の手当を受ける。

飲み込んだ場合

- ・出来るだけ多量の水を飲ませ、速やかに医師の手当を受けさせる。
- ・意識がない場合は、口から何も与えてはならない。
- ・無理に吐かせてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤

- ・粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂

使ってはならない消火剤

- ・情報なし

特有の消火方法

- ・ 燃焼性は低いと考えられるが、火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。
- ・ 消火作業は可能な限り風上から行う。
- ・ 関係者以外は安全な場所に退避させ、周囲の設備などに散水して冷却する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・ 漏出防止、回収作業等は、必ず、保護具(手袋)を着用する。

環境に対する注意事項

- ・ 情報なし

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- ・ 残留分が極少量の場合は、ウエス等で拭き取る。
- ・ 土砂等に吸着させるか、又は土砂等でその流れを止め、できるだけ容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策(局所排気・全体換気等)

- ・ 眼や皮膚を刺激するので保護眼鏡、ゴム手袋等の保護具を必ず着用し、漏れ、溢れ、飛散等しないよう慎重に取り扱う。
- ・ 取扱場所の近くに緊急用の洗眼器や身体洗浄を行うための設備を設ける。

安全取扱注意事項

- ・ 情報なし

接触回避

- ・ 情報なし

衛生対策

- ・ 取扱後は、手や顔などをよく洗う。

保管

安全な保管条件

- ・ 空気を吸収し、品位が低下するので密栓して保管する。
- ・ 気温が低下すると凝固することがある。
- ・ 直射日光を避け、冷暗所に貯蔵する。特に紫外線により分解が促進される。
- ・ 炎天下の車の中など、高温な場所に長時間保管しない。

安全な容器包装材料

- ・ 情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

- ・ 取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明確に表示する。

許容濃度

- ・ 管理濃度：設定されていない
- ・ 許容濃度：設定されていない

保護具

手の保護具

- ・ 保護手袋：ゴム手袋

眼の保護具

- ・ 保護眼鏡：ゴーグル型

9. 物理的及び化学的性質

- ・外観(物理的状态、形状、色など) 粘性液体 / 緑色不透明
- ・臭い データなし
- ・pH 原液 7.2~8.0(25℃)
- ・沸点、初留点と沸騰範囲 データなし
- ・引火点 なし
- ・燃焼又は爆発範囲の上限・下限 データなし
- ・蒸気圧 データなし
- ・比重(相対密度) データなし
- ・自然発火温度 なし

10. 安定性及び反応性

反応性・安定性

- ・熱、光、酸などに不安定で、分解を起こす。

危険有害反応可能性

- ・情報なし

避けるべき条件

- ・情報なし

混触危険物質

- ・情報なし

危険有害な分解生成物

- ・情報なし

11. 有害性情報

急性毒性：

- ・データなし

特定標的臓器毒性，反復ばく露：

- ・亜急性毒性：データなし

12. 環境影響情報

生態毒性：

- ・データなし

残留性・分解性：

- ・データなし

生体蓄積性：

- ・データなし

土壤中の移動性：

- ・データなし

オゾン層への有害性：

- ・データなし

他の有害影響：

- ・原液が一度に多量に環境に排出された場合には水生生物にとって有害である。

13. 廃棄上の注意

- ・廃棄の方法については、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

14. 輸送上の注意

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

- ・荷役作業は慎重にし、容器に打撃や衝撃を与えないよう取り扱う。
- ・直射日光及び高温にさらされ続ける輸送は、温度上昇によって分解が促進されるので好ましくない。

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法 該当しません。

労働安全衛生法：該当しません。

毒物及び劇物取締法：該当しません。

薬事法：化粧品

16. その他の情報

- ・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかも知れません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合には、出典等を良く検討されるか試験によって確かめられることをお勧めします。なお、記載のデータや評価に関してはいかなる保障もなすものではありません。また、記載事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特殊な取り扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。